

「命」と向き合う

毎日、毎日虫かごをもって上機嫌で登園してくる子ども達。特に男の子たちは、クワガタムシ、ダンゴムシ、カミキリムシ、バッタ・・・たくさんの虫を見つけては大騒ぎしています。もう・・・カナヘビなんか持ってきたら、おおむたこども園のヒーローです。そこで、上のクラスに「むしコーナー」ができました。図鑑、虫眼鏡を置きました。不思議に思ったことを自分で解決できるように・・・



友達と色々な意見を出し合ったり、虫眼鏡で詳しく観察したりとても楽しそうです。

4月から子ども達の様子を見ながら、「虫が大好きなんだなあ・・・」と感心していました。虫や小動物の名前を知っていたり、図鑑を見てその生態も知っています。でも、気になることが一つ。小動物の扱いがすごく乱暴で、いじくりまわして死んだら、ポイ！とやってしまう。そしてまた、次の虫を探す・・・の繰り返し。そこが本当に気になることでした。大人が「優しくしてあげてね。」「虫にもお父さん、お母さんがいるんだよ。返してあげようか？」と言ってもどこ吹く風。自分の欲求を優先させてしまいます。どうしたものか？職員で話し合いました。むしコーナーを充実して、もっと詳しく虫の生態を知らせ、卵から成虫になるのにすごく時間がかかること、その命の短さを繰り返し知らせること。死んでしまった虫のお墓を作って「遊んでくれてありがとう」の感謝の気持ちを持つことができるように環境作りをしました。「いのちの大切さを知らせる」と言うことの難しさを感じています。繰り返し、繰り返し、話をしてあげることが大切なんだと思います。

私が小さいころ「みなしごハッチ」というハチの子どもが女王バチのお母さんを探して旅に出るお話のテレビがありました。旅する中でいろんな虫と出会い、いろんな楽しい経験や悲しい経験をしていきます。虫の気持ちになって涙したこともたくさんありました。今、そういった番組が無いのが残念ですが・・・

こども園には、うさぎ、亀、メダカ、金魚、オタマジャクシがいます。大事にお世話ができると良いなあと思っています。

Q 虫を持たせていいの？

A、持ってきてもいいです。自分の虫かごに入れて持ってきますが、1日中放さず持ち歩いているのが現実です。そして時には「取った！」「取られた！」のトラブル、死んでしまって大泣きすることがあるのも事実です。

虫かごの管理を保育士はしません。できるだけ本人にさせますので、ご了承ください。そこを子どもにも保護者の皆さんが言い聞かせてくださると助かります。大事な大事な虫は家で管理した方が良さそうです。

虫取り網だけは、安全面から、持ち込みは禁止とさせていただきます。



◎検尿について

本日(22日)に容器を持たせます。提出は24日(木)になります。お間違いの無いようお願いいたします。どうしてもとれなかったら、25日になります。それでもとれなかったら、園の方にご相談ください。大事な検査ですので、全員提出できますようにご協力をお願いします。

◎じゃぶじゃぶ池が始まりました。ぱんだ、ぺんぎん、らいおんクラスは、水泳帽子を毎日持たせてください。